



11月園だより

令和4年11月1日
第三ひもんや保育園園長

先月は運動会、芋ほり遠足、稲刈り、幼児お楽しみ会と子どもたちが楽しみにしていた行事が続きました。保護者の皆様には様々なご協力を頂き感謝申し上げます。幼児クラスメインの活動ではありますが、園庭などで運動会ごっこを楽しんだり、芋を干す様子を見たり、稲に触れたりと乳児クラスの子もよく見て肌で感じ取り新しい発見の一つになっているのではないかと思います。先日、2歳児クラスの子どもがままごとコーナーで「ご飯食べるよ」「おいしいよ」と人形に話しかけながら、お世話遊びを楽しんでいました。様子を見守っていると畳んであった布を、指先を使って広げ箱の上に何枚も何枚も重ねていました。その中に人形を優しく寝かせ、最後の布を広げるとそっと掛けていました。きっと、ふかふかの布団をイメージして布を何枚も重ねて作ったのかもしれませんが。乳幼児にとって手は突き出た脳といわれます。子どもは起きている間中、手を使って脳へ刺激を送っているそうです。毎日の遊びの中で、手や体を使って自然や物の性質を学び取っています。今月は焼き芋会、乳児お楽しみ会などの行事も楽しつつ、秋の自然も遊びに取り入れながら、全身で季節の変化を感じ取る経験を大切に保育を進めていきたいと思ひます。



〈11月の予定〉

焼き芋会 (全園児)
(焼き芋会 1日雨天時)
乳児お楽しみ会 (0、1、2歳児)
身体計測 (全園児)
避難訓練 (全園児)

〈12月の予定〉

大きくなったね会 (3、4、5歳児)
しめ縄作り (5歳児)
身体計測、避難訓練

健康教育



『怪我を防ごう』



子どもたちが色々なことにチャレンジしていくと擦り傷などの小さな怪我をすることがあります。この小さな経験を繰り返しながら、上手な身のこなし方を学んでいきます。しかし自分で防がなくてはならない怪我もあります。そこで、普段生活している園にどんな危険があるのか、危ないと思うことについて一緒に考えました。すると「トイレの扉を勢いよく閉める友達がいる」という話が出てきました。そこで、テラスの戸にペットボトルをはさみ、勢いよく戸を閉め、ペットボトルの形が変わる様子を見ました。子どもたちはやや緊張した表情で真剣に見ていました。ペットボトルは『バキバキッ』と大きな音をたてて潰れました。「もし、ペットボトルが指や腕だったらどうなるかな」と聞くと「痛いし血が出る。骨が折れちゃう。大怪我だよ」と声があがりました。このように日常生活を振り返ることで子どもたちが考えるきっかけとなり、注意喚起に繋がればと思ひ健康教育に取り組んでいます。また、このところ登園時や引き渡し後に廊下や玄関前スロープを駆け下りて転倒する怪我が多く発生していますので、ご注意ください。



幼児クラスの室内遊びの様子をお知らせします



3歳(みつばち組)

「作るの大好き」

運動会ではのりを使って忍者のハチマキを作りました。その後も「なんかのりで貼って作りたいな」と声をかけてきたので、大小色とりどりの紙を用意しました。すると棚からのりを持ってきて、「ピンクにしようかな、水色も好きなんだよね」と紙を選んでいきます。紙が決まると今度は、紙を折ったり、もう一枚の紙をのりで貼り合わせたりしています。表情は真剣そのものです。そして保育士の所にやってくると「見て、おうち作ったんだよ。ここから入るんだよ」と満足そうな表情をしています。作っている姿を見て、数人の子どもたちもやってきて「指輪作りたい」「棒、作りたい」「アイス作ろうかな」と言い、イメージしたものをのりと紙で作って楽しんでいきます。自分で考えた物を作ろうと、折ったり、貼ったり、切ったりなど色々と試しながら作ることで、想像力が膨らみ道具の扱い方も上手になっています。今後も作りたい思いを大事にしながら材料を用意し楽しんでいきます。



4歳(とんぼ組)

「紙ひこうきを飛ばそう」

子どもたちは、折り紙で紙ひこうきを折ることに夢中になっています。最初は皆、基本形の紙ひこうきを折っていましたが、そのうちに「イカタイプ」「ジェットタイプ」と少し難しい折り方のものにも挑戦する子が出てきて、保育士に手伝ってもらいながら作るようになってきました。お気に入りの紙ひこうきが出来ると、次は飛ばす練習がしたいと、廊下に出て順々に飛ばすようになり、「こうやると遠くに飛ぶよ」と教えてくれる子がいたり、カッコいいフォームを考え出したりと色々工夫しながら飛距離を伸ばしています。ホールではトーナメント形式の紙ひこうき大会も開催しました。1回戦で負けてしまい悔し涙を流した子は、次の大会に向けて毎日のように廊下で練習に励んでいました。よく飛ぶ折り方を教えあったり、遠くまで飛ばせるよう互いに励ましあったりする中で、友達同士の関りが深まり、楽しそうな笑い声が響き渡っています。

5歳(かぶとむし組)

「思いついたアイデアを形にして」

保育室では、空き箱や段ボール、スズランテープ等、様々な素材を使って制作をしています。段ボールに下書きをして、はさみで切ったりマジックで色を塗って盾や剣等のアイテムを作ったり、カラービニールを見つけると、スカートをイメージしたようで「これでスカート作ろうかな〜」と一人が始めると、他の子も集まってきたり一緒に作り始めました。スカートを作ると早速身に着けてお家ごっこを始めていました。ご飯を食べた後、お出かけをする準備を始めてふと鏡を見ると「もうちょっと可愛くしたいね」と話し合い、キラキラテープを使って三つ編みにするとカチューシャを作ったり、ネックレスやブレスレットなども手作りして身に着けていました。「すごく可愛くなったね」と互いを見て喜び合い「じゃあ、お出かけに行こう」と手をつないで出発していました。自分達で好きな物を作り出し、それを使って遊ぶことでより友達とのイメージが広がり盛り上がり上がっています。

